

「国民医療を守るための総決起大会」 in 神奈川

1 目 的

現下の少子高齢化の進展と人口減少は、国民皆保険制度の持続可能性に深刻な影響を及ぼしつつあり、医療人材の不足や地域偏在も一層深刻化しております。

加えて、医療機関等は物価高騰や賃上げ要請への対応に迫られる一方、公定価格による運営の下で十分な原資を確保することが困難な状況が続いております。こうした環境のもと、医師をはじめとする医療従事者が安心してその職責を全うし、県民の生命と健康を守り続けていくためには、適切かつ恒常的な財源の確保と、医療提供体制の強化が不可欠です。

さらに、医療 DX の推進や災害・感染症への備えなど、新たな課題にも対応しつつ、社会全体で医療を支える仕組みを築くことが求められています。

このような思いから、“国民皆保険制度を将来にわたり守り抜き、持続可能な社会保障制度の確立を求める県民の声を政府に届けること”を目的として、国民医療推進協議会と連携した県民集会を開催いたします。

2 主 催 国民医療推進協議会及び神奈川県民医療推進会議

神奈川県医師会、神奈川県病院協会、神奈川県歯科医師会、神奈川県薬剤師会、神奈川県看護協会、神奈川県臨床検査技師会、神奈川県放射線技師会、神奈川県栄養士会、神奈川県柔道整復師会、神奈川県鍼灸マッサージ師会、神奈川県理学療法士会、神奈川県精神科病院協会、神奈川県有床診療所協議会、健康保険組合連合会神奈川連合会、日本精神科看護協会神奈川県支部、かながわ福祉サービス振興会、神奈川県作業療法士会、神奈川県臨床工学技士会、神奈川県医療専門職連合会、神奈川県歯科衛生士会、神奈川県歯科技工士会、神奈川県消費者の会連絡会、神奈川県老人保健施設協会、神奈川県病院薬剤師会、神奈川県精神神経科診療所協会

3 日 時 令和7年11月20日（木） 午後1時55分～3時30分

4 会 場 神奈川県総合医療会館7階大講堂 横浜市中区富士見町3-1
TEL 045(241)7000

5 対 象 一般県民および医療関係者 約300名

6 次 第 司会・開会 神奈川県医師会理事 藤 倉 寿 則

国民医療推進協議会「国民医療を守るための総決起大会」

主催者挨拶 神奈川県民医療推進会議会長（神奈川県医師会長） 鈴 木 紳一郎

決意表明 神奈川県民医療推進会議副会長（神奈川県病院協会会長） 吉 田 勝 明

神奈川県歯科医師会副会長 遠 藤 則 子

神奈川県薬剤師会常任理事 福 嶋 仁

決議採択

頑張ろうコール 神奈川県医師会理事 石 井 貴 士

閉 会 神奈川県民医療推進会議副会長（神奈川県看護協会会長） 本 舘 教 子

決 議（案）

日本は長く続いたデフレから脱却し、インフレによる急激な賃金上昇と物価高騰が生じており、これらは今後も持続する可能性が高い。

一方、公定価格により運営される医科・歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護福祉施設等では、賃金上昇や物価高騰を補うための価格転嫁ができず、必要な人材確保に不可欠な賃金上昇分すら補填されていない。現行の診療報酬体系のままでは、医療・介護人材の大量流出を招き、地域医療・介護体制は壊滅の危機に瀕する。

よって、本会議の総意として、以下の対応を強く要望する。

- 一． 令和8年度診療報酬改定をはじめ令和8年度予算編成において、賃金上昇・物価高騰・医療技術革新に対応した抜本的かつ大幅なプラス改定を必ず実現すること
- 一． 医科・歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護福祉施設等に対し、補助金や診療報酬・介護報酬の期中改定等により、早急に対応を行うこと
- 一． 医療・介護・福祉等に従事するすべての職員が、誇りと責任をもって就業を継続できるよう、恒常的な安定財源を確保すること

これらにより、将来にわたり世界に誇れる日本の医療・介護・福祉等を安定的に提供できるものと確信する。

以上、決議する。

令和7年11月20日

神奈川県民医療推進会議